

平成 27 年 9 月 29 日 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分

司会	亀岡清泉荘 松野代表	記録	亀岡清泉荘 湯浅
-----------	------------	-----------	----------

出席者 小規模多機能ホーム・桂さま、亀岡市役所・高橋さま 齋田さま、民生委員・後藤さま
 亀岡市地域包括支援センターあゆみ・松本さま、曾我部町南条区長・赤澤さま
 亀岡清泉荘・宮内 打越

欠席者 曾我部町・大倉さま、民生委員・八田さま

1. 9月28日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
 小規模多機能ホーム登録利用者さま：28名、グループホーム：9名
2. 職員体制（別紙参照）
3. 事業活動について（別紙参照）
4. 事業所内の活動について（別紙参照）
5. 利用者さまの地域について（別紙参照）
6. その他
7. 今後の課題（別紙参照）
8. 亀岡清泉荘へのご要望、助言等

質問・要望・助言	回答・対応
インフルエンザ対策について（予防接種の時期など）	予防接種は基本的に主治医が担当している。 （平岡先生）接種回数は1回。その年によって流行する時期が異なるので、流行時期を予測しつつタイミングを見計らって利用者さまに接種していただく。昨年職員については、家族の感染が発覚した時点で一定期間休みを取らせるよう徹底していた。昨年は1名も利用者さまに感染者が出なかったことから、今年も昨年のルールを継承しつつ、さらに万全な対策をしていく。
結核、ノロウィルスの感染者が近郊で出ている件について（松本さまより情報提供）	管理者打越がすでに感染症研修に出席し、今後研修内容を職員に伝達していく予定。職員ひとりひとりが正しい知識を持ち、感染を広めないよう対処をしていく。ノロウィルス専用の消毒キットなどを予め用意しておくことも有効とのことなので、検討していく。
国の総合事業への移行に伴い、清泉荘としては小規模多機能以外にどのような要支援者へのサポートが考えられるか	食材配達業者からの打診もあり、見守りも含め検討したがロイヤリティが高額なこともあり実現が難しかった。参加者の皆さまからは地域の高齢者の傾向として次のようなものが挙げられた。 ・コミュニティ能力が低い人、プライドが高い人が引きこもりになりやすい（女性に比べ男性が多い） ・農業をされていた方と会社員をされていた方、団地住まいの方と昔からその土地に住まわ

れている方、など経験、環境の違いにより溝が
できやすい

・周囲の仲のよい人がデイサービスなどに行っ
てしまうと、寂しく感じる人も多い

・小学生の見守りなど時間が決まった習慣が体
調にいい影響を及ぼしている

・人との会話、人と接する緊張感が認知症の予
防につながっている

以上のことから、認知症カフェなど地域の方々
のコミュニティの場をつくる、また意欲を持っ
ていただき、習慣にしていだけるような教室
を開催するなど引き続き検討していく。

次回、運営推進会議は平成27年11月20日（金）10時30分～12時00分までの予定。

